

私のすすめるこの1冊

松本 歩子 (家政科 講師)

『子どもリスペクトから始めよう！—子どもの権利が当たり前の日常へ—』

山下 雅彦(著)

今年4月に母校、家政科の生活経営・保育学研究室に着任し、早速このコーナーのお話をいただきました。今年(2023年)といえば、こども家庭庁が設置され、こども基本法が施行された年。「こどもまんなか」をキャッチフレーズに、子どもの権利保障の観点から、当事者である子どもの声を聞き、政策に反映することが進められようとしています。しかし、現状の日本社会では、子どもが意見を表明すること、そして子どもの声=思いを受け止めることにまだまだ課題がありそうです。

本書では、そのような社会の課題に対し、「子どもリスペクト」から始めよう！そして子どもの権利が当たり前の日常を目指そう！という力強いメッセージが発信されています。著者は、長年、子どもの権利に関する研究に携わってこられた山下雅彦氏(東海大学名誉教授)。本学の卒業生(私たちの先輩!)だと知ると、学生のみなさんもより身近に感じるのではないのでしょうか。

山下氏は、「かめおか子ども新聞」(子どもが書いて大人が読む新聞)の作成秘話や子ども記者の「迷言」、Adoの「うっせえわ」、戦時中に子どもが作った軍歌の替え歌などのエピソードを交えて、子どもは普段から遊び心をもってしゃべっている(意見表明や表現をしている)こと、独自の文化を創っている存在であることを示し、子どもを<人間として>、<子どもとして>、<個として>、敬意をはらう「子どもリスペクト」の視点を提唱しています。

また、競争主義的な社会と教育が引き起こした事件や国連子どもの権利委員会の勧告にも注目し、競争主義的な社会から子どもを解放し、子ども時代を守ることの大切さも訴えています。

みなさんは子どもリスペクトしていますか？「子どものくせに」「どうせ子どもだから」と見下したり、「子どもに〇〇を教えてあげよう」と上から目線だったりすることはないでしょうか。

山下氏は、子どもの権利条約の源流であるヤヌシュ・コルチャックのメッセージ「“子どもに”ではなく“子どもと”」とともに、子どもリスペクトが当たり前の日常となっている他国の様子を以下のように紹介しています。また、子どもリスペクトにより響き合って輝いた支援学級担任の国内の実践も紹介されています。(p.115-116)

日本の視察団がデンマークのある保育園を訪れたとき、先生と子どもがすごく楽しそうに話していた。それを見た視察団の1人が後で「先生は、あの子に何を話していたんですか？」と質問したら、向こうの先生が一瞬「う～ん」と考え込んで、こう返答したそうです。「私たちは“子どもに”何かを話していたんじゃないくて、“子どもと”おしゃべりしていただけです。」(p.84)

子どもに関わる専門職が意識し、実践していくことが社会を変える一歩になる。本書をきっかけに、子どもリスペクトが当たり前の日常と一緒に目指しませんか。



10月から再開します！学修相談カウンター

京教の先輩が勉強や教育実習など、いろいろな質問に対応してくれます。勉強や就職のこと、先輩に相談してみませんか？ぜひ気軽にお立ち寄りください。

【時間】授業期間の平日 2~4限のうち該当の時間

【場所】北館 2階 ラーニングコモンズ
時間が合わない、いきなり対面相談は緊張する、、、などの場合はフォームでの相談も受け付けています。



※詳しくはHP等でご確認ください



図書館は、いつもみなさんの「まなび」を応援しています。

QRコードからもチェックしてみてください。



図書館講習会のお知らせ

予約制！

【実施期間】10月10日(火)~11月17日(金)

図書館ではさまざまな講習会を、10~11月中予約制で開催します。レポート・論文を執筆する前に、図書館職員から資料の利用方法を聞いてみませんか？ご参加お待ちしております！

【申込方法】氏名・専攻・希望講座・希望日時(曜日・時限(平日 11:30~17:15))を明記の上

library@kyokyo-u.ac.jp宛に前日までにご連絡ください。調整の上、いただいたメールアドレスに開催日時を連絡いたします。

【集合場所】附属図書館カウンター

※詳細は図書館HP等をご確認ください。

ぜひ、参加してくださいね！

連動企画①：データベースのプラス50アクセスアップ

朝日新聞クロスサーチ：10月10日(火)~10月23日(月)

ジャパンナレッジ：10月10日(火)~10月16日(月)

連動企画②：データベースの未契約オプションコンテンツトライアル

朝日新聞クロスサーチ：10月2日(月)~12月31日(日)



リクエストと投票で話題の本を読もう

学習研究以外のリクエスト本を一定期間掲示し、皆さんの投票で購入する本を決定するリクエスト企画です！リクエストや投票にぜひ参加してください！

投票期間は

10月2日(月)~11月18日(土)



「ブックハンティング」選出本を展示します！

去る7月5日(水)、京都BAL丸善本店において「ブックハンティング」が行われました。

学生8名が図書館に置いて欲しい本を選び、選んだ本は優先貸出されています。

10月上旬から貸出期間が終了しますので、選ばれた本の館内展示を行います。

選書者による推薦文や素敵なPOPも併せて掲示されますので、是非ご覧ください。

【展示期間】10月上旬から約一ヶ月

【展示場所】1階渡り廊下



前年度の展示の様子→



電子書籍で英語の多読資料を読もう！

10月2日(月)より、グローバルスクエアに英語多読資料用のカードを設置しています。

本学購入済電子書籍、「Macmillan readers : Level 4」のカードです。

表面はQRコード、裏面は学外からのアクセス方法が記載されています。自由に持ち帰って、好きな時に好きな場所で多読にチャレンジしてください。



.....
どんどん活用してくださいね！



リクエストと投票で話題の本を読もう

学習研究以外のリクエスト本を一定期間掲示し、皆さんの投票で購入する本を決定するリクエスト企画です！リクエストや投票にぜひ参加してください！

投票期間は

10月2日(月)~11月18日(土)



夏季休暇に伴う長期貸出について

返却期限日は10月10日(火)です。

京都教育大学
それはかなう夢講座

「先生になりたいーそれはかなう夢」は、京都教育大学のシンボルフレーズです。「それはかなう夢講座」では、本学の教職員が、学部、大学院のすべての専攻、研究科の学生や教職員の皆さんを対象に、科学の魅力をわかりやすくお伝えしていきます。

第38回のお知らせ

10月中旬YouTubeのみ公開予定

【講師】吉安 徹(数学科 講師)

【テーマ】柔らかな幾何学

※今までの回も視聴できますので、ぜひご覧ください！



<概要> 中学校の幾何学で、三角形の合同について学びました。これは、二つの三角形がぴったり重ねられる、全く同じものであるという意味でした。他方、三角形の相似というものも学びました。合同は図形そのものが同じ、相似は拡大・縮小の違いを無視すれば図形が同じということを表しています。これら以外に、図形を同じと見なすような考え方はないのでしょうか？実は、我々ほもっと柔軟な基準を実生活で使用しています。

本講座では、トポロジーと呼ばれる幾何学について紹介します。図形が同じ・形が同じという言葉の自由度の高さ、それらが異なるということの意外な難しさに触れていただきたいと思います。

主催:「現代的ニーズを踏まえた「理系」教員養成のためのカリキュラム開発」プロジェクト委員会
後援:京都教育大学同窓会・京都教育大学附属図書館



まちたんけん

藤城小学校2年生の「まちたんけん」の活動に協力しました。

2年生のグループが附属図書館に見学・インタビューにきました。蔵書数や集密書架、温度計などに驚き、興味深く取材をしていました。

児童書コーナー (南館1階)



今月の絵本カード(学生作)

『ねずみのいもほり』

作:山下 明生

絵:いわむら かずお

出版社:ひさかたチャイルド



※児童書コーナーにかわいいカードが飾られていますので、ぜひ見に来てください。



製本作業による雑誌の利用制限について

10月中旬頃まで、南館1階にある雑誌のうち2022年に発行されたものを中心に、一部の巻号が製本作業のため利用できなくなります。製本後はすべて西館3階電動集密書架に配架しますので、そちらをご利用ください。

※製本対象リストを図書館ホームページに掲載しています。

※詳細についてはカウンターにお尋ねください。



企画展示室

第5回教育展「大学の授業～理学編～」

「大学の授業～理学編～」と題して、京都学芸大学学芸学部から京都教育大学教育学部へと続いてきた理学科の歩みを、大学が保管している教具・装置・器具・資料などの展示を通して紹介します。物理学・化学・生物学・地学・理科教育学の5つの分野で、過去から現在に至る教育の変遷をご覧ください。

【会期】11月10日(金)～12月27日(水)

※11月12日(日)は藤陵祭のため開館、11月25日(土)は大学入試のため学外者入館不可

【時間】図書館の開館日時に準じる

【会場】附属図書館 北館1階 企画展示室

<関連イベント>サイエンスワークショップ

【日時】11月11日(土)・12日(日) ※参加費無料

【講師】村上忠幸名誉教授、芝原寛泰名誉教授

【会場】京都教育大学

※申込方法等詳細は後日 HP に掲載します。

教育資料館 まなびの森ミュージアム

【10月の開館日時】

2日(月)、9日(月・祝)、16日(月)、23日(月)、30日(月)
14:00～17:00

好評開催中!

第11回 京都・大学ミュージアム連携 スタンプラリー

2023年9月23日(土・祝)～
2024年3月25日(月)まで

※本学は連携参加大学です。



教育資料館 まなびの森ミュージアム
<https://www.kyokyo-u.ac.jp/museum/>

論のくちび理のむすび

今回の執筆者 **片山 紀子** (連合教職実践研究科 教授)

多職種連携による生徒指導体制の構築 —チーム学校の観点から—

片山 紀子

京都教育大学紀要 2023, No.142, pp. 47-61
URI:<http://hdl.handle.net/20.500.12176/9771>

アメリカなど諸外国に比べてわが国の学校は、専門職スタッフが圧倒的に少ない状況にあります。近年、教員不足が叫ばれていますが、教員不足に加えて、実は専門職スタッフの不足という二重の不足が見られます。

子どもの教育とケアを基盤にしながら、子どもの多様性と包摂を同時に満たす包括的な D&I(Diversity & Inclusion)を実現しようとするれば、専門職スタッフの人材確保は学校にとって必要不可欠です。

ただし、単純に専門職スタッフを増やせばよいというわけではありません。本論文では、生徒指導主事を対象とした郵送方式によるアンケート調査を行い(回収率 40%)、生徒指導体制に焦点を当てながら多職種連携の抱える課題について考察しました。

調査の結果、他職種との連携を進めるには、「時間」、「人の配置」、「お互いの仕事内容の理解」、「行政や管理職のリーダーシップ」がネックとなっていることがわかりました。数の不足に加えて、多職種連携のシステムづくりが喫緊の課題となっているのです。専門職スタッフの不足にももちろん光を当てなければならないのですが、その連携のあり方にも着目する必要があると考えています。

なお、本論文の内容については、本年度中にミネルヴァ書房より、共著『教員をエンパワメントする学校のプラットフォーム化(仮)』として刊行の予定です。Youtube「片山紀子 Channel」で、本論文にもかかわる内容を動画配信中です。よろしければご覧ください。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要 142 号に掲載されています。

※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」<https://ir.kyokyo-u.ac.jp/> に掲載されています。

開館日程 □9:00-21:00 ■9:00-17:00 ■休館(CLOSED)

2023年10月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

10/2 後期授業開始
10/21 大学院入試(学外者利用不可)

2023年11月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

11/1 館内整理日
11/10-12 藤陵祭
11/25 推薦入試(学外者利用不可)

※開館日程につきましては、変更となる場合がございますのでホームページをご確認ください。

●京都教育大学附属図書館ホームページ
<https://www.kyokyo-u.ac.jp/library/>
(QRコード→)



京教図書館 News No.277 (2023年10月号)
発行日:2023年10月2日
編集発行:京都教育大学附属図書館
問い合わせ先:library@kyokyo-u.ac.jp

国立大学法人
京都教育大学
KYOTO UNIVERSITY OF EDUCATION